

岩渕美智子さんの 茶道・授業補助



「おいしかった。」「もっとやりたい。」「このお菓子」どこで売ってるの。」・・・善郷小学校の6年生が社会科の時間に体験した「茶道」の世界。

教育ボランティアとしてお茶の指導にあたられたのは、岩渕美智子さん（小松）とそのお弟子さん2人。対象が6年生ということで、お茶の歴史や精神についてもふれながら、おじぎの種類や基本的な姿勢、お菓子のとり方、お茶の飲み方などの作法を指導しました。

子どもたちは、教わった作法を丁寧に確認しながら、和三盆のお菓子を口に運び、そして「抹茶」を体験・・・その感想が、冒頭の言葉です。岩渕さんは「みんな真剣で、びっくりしました。「礼儀をきちんとしたい」とか、「もっとやってみよう」という感想がでていましたよ。特に男の子が多かったですね。」とその時のことを振り返ります。

「一部の幼稚園でも、ボランティアとしてお茶の指導はしていますが、小学生は歴史や精神も含めて指導するので、より理解が深まっている気が



子どもたちは、教わった作法を丁寧に確認しながら、和三盆のお菓子を口に運び、そして「抹茶」を体験・・・その感想が、冒頭の言葉です。岩渕さんは「みんな真剣で、びっくりしました。「礼儀をきちんとしたい」とか、「もっとやってみよう」という感想がでていましたよ。特に男の子が多かったですね。」とその時のことを振り返ります。

現在、茶道の師範としてお弟子さんをかかえる岩渕さん以前は、小学校教諭として子どもたちと水く接してきました。その経験を活かして行っているもう1つのボランティアが、「放課後授業補助」。教鞭をとっていたこともある善郷小学校で、5年生の一部の児童を対象に、週1回算数

の指導も行っていきます。

「放課後の授業補助・・・というところ、授業についていけない子たちと違って、授業がすすんでいく子たちと違って、みんな一言アドバイスがあれば理解できる子たちばかりですよ。学習内容に応じて個別に指導したり、何人か集めて説明したりしています。また、数回だけですが、みんなとても一生懸命で、素直で指導しやすいです。すね。」そんな岩渕さんが、指導している子に偶然出会ったとき、あいさつしてもらえたことがとても嬉しかったと言います・・・学校の中だけではない「つながり」もそこにありました。



このように、茶道と授業補助の教育ボランティアを担当した岩渕さんは・・・

「例えば、お茶の指導をする時も、茶道の精神などを子どもたちの言葉で説明しますよね。そういうことを考えた、準備したりしているのも楽しいですし、お茶も算数（授業補助）にも真剣に取り組みんでくれるので、本当に嬉しいです。」と、充実感を語ります。

また、教育ボランティアについては、「茶道体験を幼稚園からいっしょにさせているのは、矢吹くらいじゃないでしょうか。いいことだと思います。また、地域の方々から学ぶということも大切なので、学校でも積極的に取り入れて欲しいです。私ももっと教育ボランティアとして活動していきたいですし、地域のみなさんも（教育ボランティア）できる方はやられたほうがいいと思いますね。」

今回、「教育ボランティア」のみなさんの活動を拝見して思ったこと・・・

子どもたちは、意外と自然にボランティアの方と打ち解け、心を開いて接しているということ。また、子どもたちだけではなく、ボランティアの方々も、そういう時間を生きたいと願っていること。・・・互いにこういつた時間を通して、今まではなかった人と人との関係を築く。これが「地域で子どもを育てる」原点ではないでしょうか？

そして、それは、以前はごく普通にあつた地域と子どもとの姿。だからこそ、こういう取り組みが、互いにいい刺激になりつつも、ごく自然に受け入れられたのではないかと思います。

教育ボランティアのみなさんは、矢吹の教育の新しい力となるべく、町内幼稚園と小中学校で一部活動中です。そして、ボランティアの登録も随時受け付けていますので、活動を希望される方は、ぜひ、担当までお問い合わせください。



※問い合わせ先
学校教育課職務教育係
☎44-44100

教育ボランティア活動予定

- 和楽器（琴）の指導
- ALT（英語指導助手）との通訳など
- 昔遊びの指導
- 本の読み聞かせ
- 学校不応対対応
- スポーツ（陸上など）指導
- 学習支援（国語、算数、社会、英語など）
- 放課後学習も含む
- 預かり保育（年数回）
- 昔話や地区芸能

など